

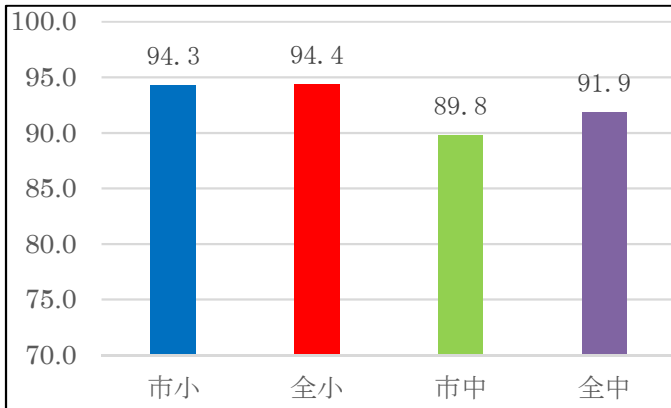
生活習慣（朝食）について

毎日の朝食や、起床時刻、就寝時刻から生活習慣について考える。

質問

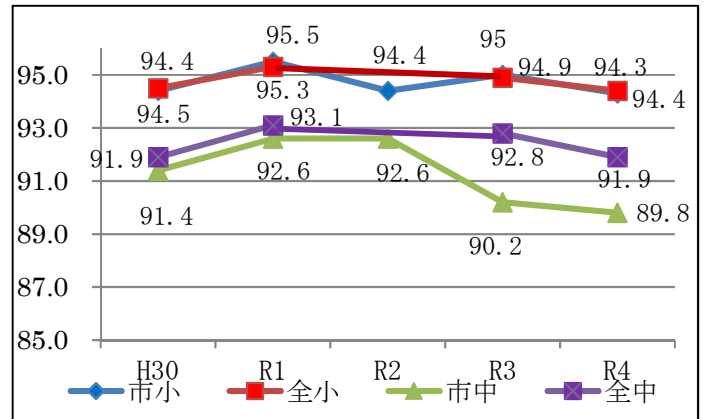
朝食を毎日食べていますか。※R2は小中ともに全国の集計なし。（以下全項目同じ）

今年度の結果



小学校、中学校ともに、全国平均とほぼ同じ高い傾向にあります。その一方で朝食を食べてない生徒が中学は1～4人いる割合になっています。

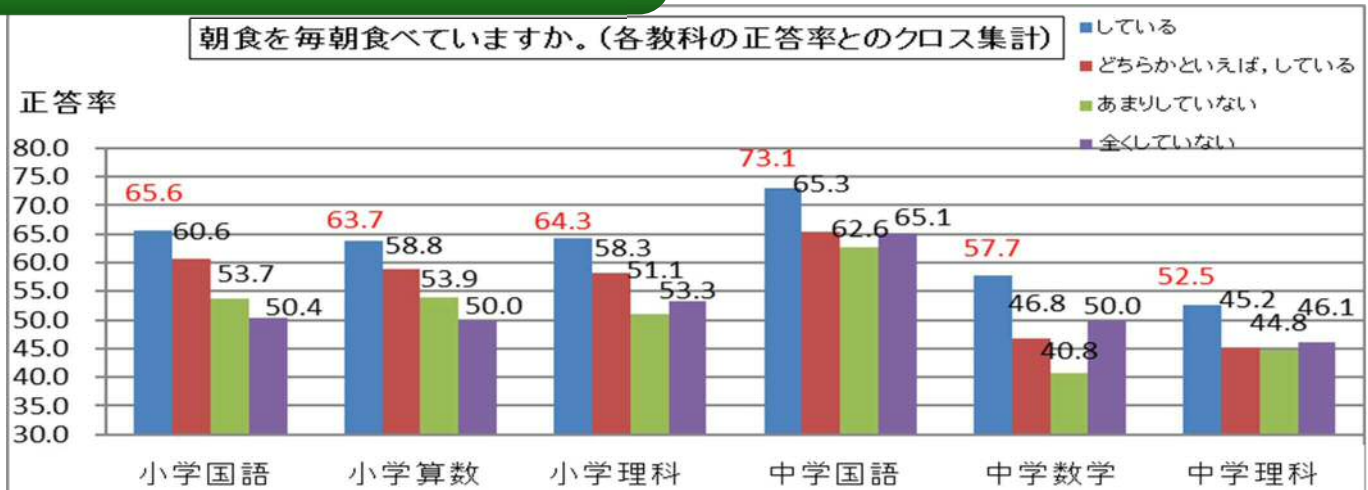
5年間の比較



小学校、中学校ともに、4年前と比べ大きな変化はみられません。

※グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答率を合計した数値で示しています。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては、より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。

※海老名市平均正答率：小学国語 64.4、小学算数 62.6、小学理科 62.9、中学国語 71.2、中学数学 55.1、中学理科 50.9

これからの指導について

全国の平均値や過去5年間の経過を比較しても、大きな変化は見られませんが、「学級に1～4人は朝食を食べてきていない児童生徒がいる」という現状は、変化がありません。睡眠時間を含めた生活リズムを整えることの大切さを保健等の授業で引き続き指導していきます。

「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする生活習慣の安定は、クロス集計の結果からもわかるように、学力の定着にも影響していると言えます。今後ご家庭でのご協力をお願いします。

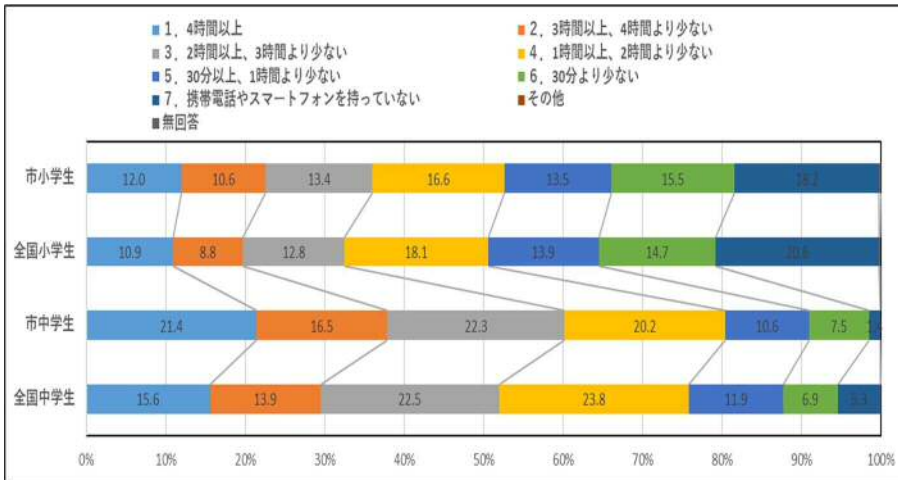
生活習慣（ゲーム・スマホ）について

スマホや携帯電話で、SNS や動画等を視聴する時間から生活習慣について考える。

質問

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか。（学習やゲームの時間は除く） ※R4からの質問項目。

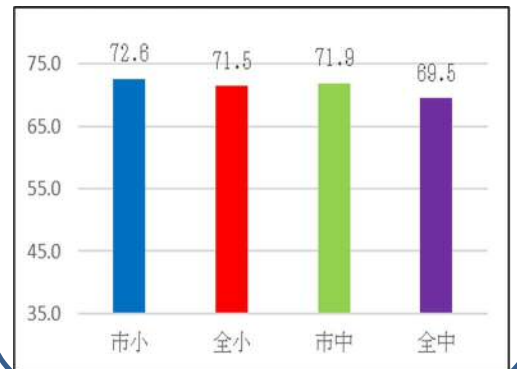
今年度の結果



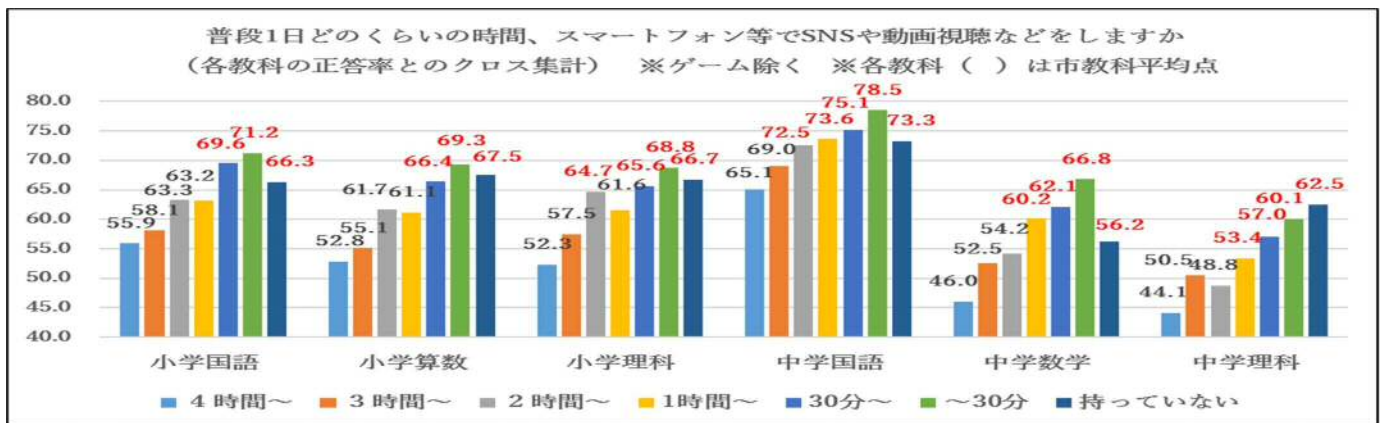
小学校は全国よりやや使用時間が多い傾向、中学校はさらに大きく全国平均を上回っています。1日3時間以上スマホを使用している児童生徒がクラスに8～14人程度いる割合です。

<関連>携帯電話・スマホ等の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

※きちんと守っている・だいたい守っていると答えた回答率を合計した数値



各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては、より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。
※海老名市平均正答率：小学国語 64.4、小学算数 62.6、小学理科 62.9、中学国語 71.2、中学数学 55.1、中学理科 50.9

これからの指導について

スマホ等使用時間は年々増加する傾向にあり、全国平均を超えている状況です。スマホ等が手放せない依存状態になってしまうと、クロス集計の結果のように、学習にも大きな影響があり、一度陥ってしまうと回復するまでに多くの時間と労力を要するとともに、子どもの将来にも大きな影響を与えてしまう可能性があります。学校において啓発指導を行うとともに、ご家庭でもスマホの使い方について話し合い、ルール作りに取り組みましょう。

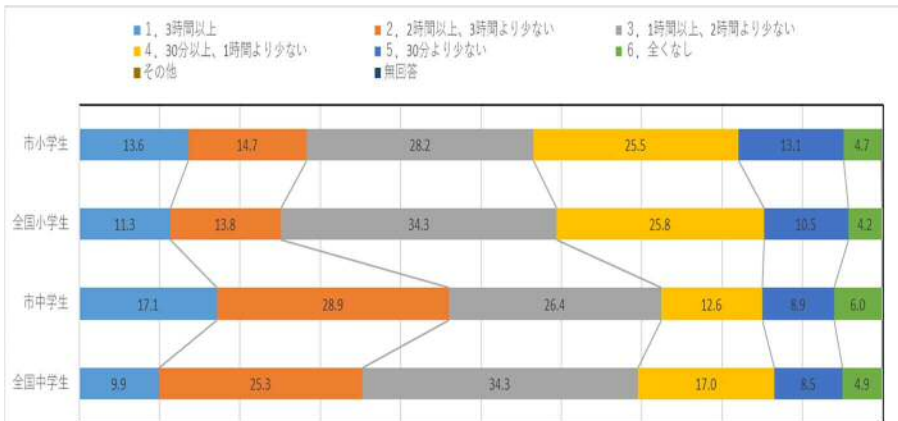
学習習慣（家庭学習）について

学校の授業時間以外の学習や読書の様子等から、学習習慣について考える。

質問

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間やインターネットを活用した学習時間も含む）

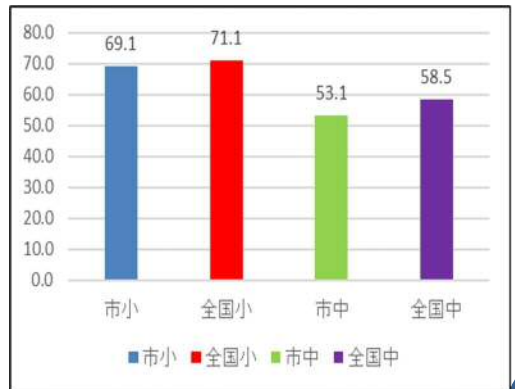
今年度の結果



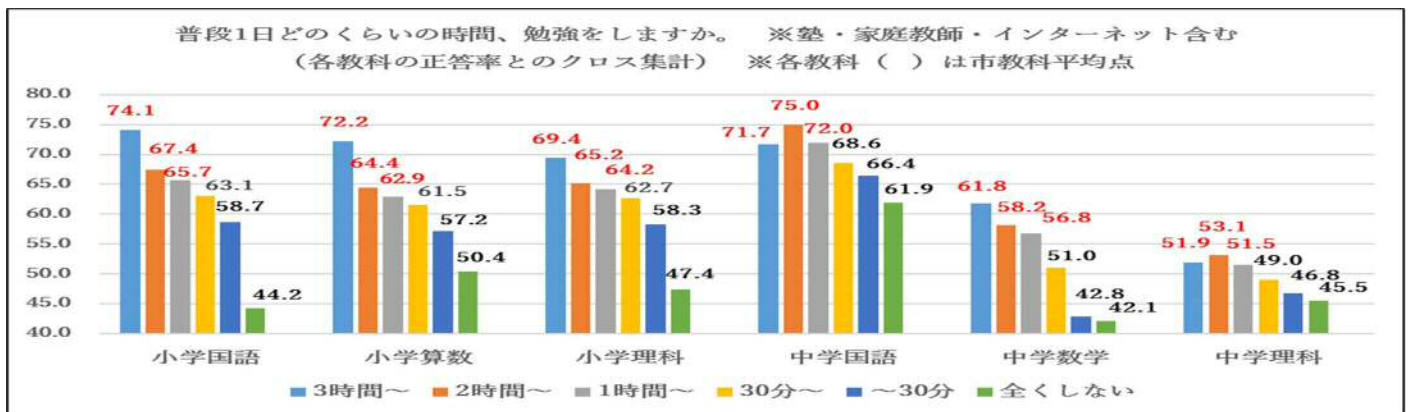
家庭学習（塾などを含む）の時間は、小中学校ともに、2時間以上の家庭学習において、全国平均より上回っています。その一方で30分以下の家庭学習においても全国平均を上回っています。

<関連>家では自分で計画を立てて勉強していますか。

※している、どちらかと言えばしていると答えた回答率を合計した数値



各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては、より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。
※海老名市平均正答率：小学国語 64.4、小学算数 62.6、小学理科 62.9、中学国語 71.2、中学数学 55.1、中学理科 50.9

これからの指導について

家庭学習時間が多い児童生徒と少ない児童生徒がともに全国平均を上回る傾向でした。学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できた」という自信に変わります。また、毎日計画的に学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。少しずつでも継続することが、大きな力につながります。小学校低学年のうちから学校でも家庭でも声をかけていきましょう。

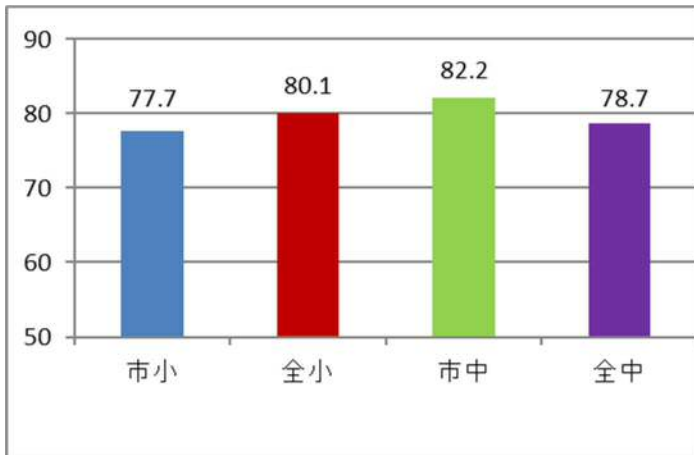
「主体的・対話的で深い学び」について

授業での言語活動(話し合い活動)から、主体的・対話的で深い学びについて考える。

質問

学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

今年度の結果



5年間の比較

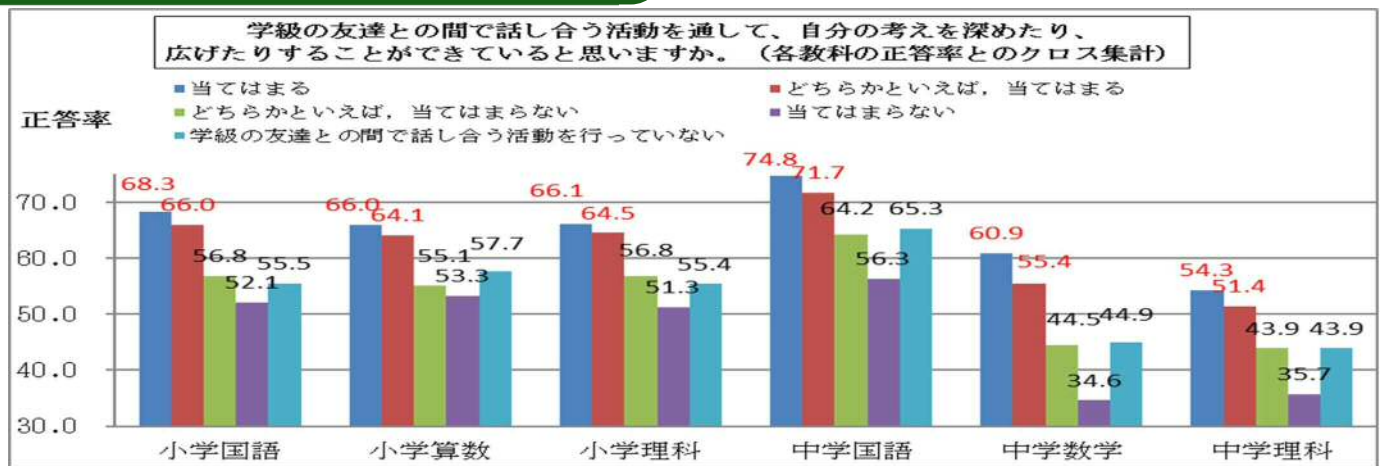


小学校は全国平均よりやや下回り、中学校は上回っていますが、おおむね全国平均並みの回答です。

特に中学校において、4年前より肯定的な回答が大幅に増加しています。授業の中で活発な言語活動に取り組んでいることがうかがえます。

※グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答率を合計した数値で示しています。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては、より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。
※海老名市平均正答率：小学国語 64.4、小学算数 62.6、小学理科 62.9、中学国語 71.2、中学数学 55.1、中学理科 50.9

これからの指導について

コロナ禍で、対面でのグループ活動や話し合い活動に制約がありましたが、ICT機器を活用するなど、各学校で工夫を凝らした方法での意見交流の場を設定してきました。今後も、対話的な学習を通して、主体的に学びへ向かう姿や物事に対する深い理解を生み出せるよう、授業改善に取り組んでいきます。

児童生徒質問紙の結果から

主な結果と経年変化

令和4年度
全国学力・学習状況調査 単位%

「生活習慣」について

毎日の朝食や、起床時刻、就寝時刻から生活習慣について考える。

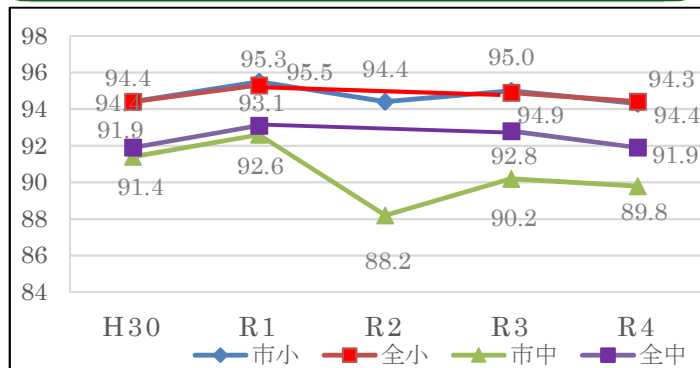
質問

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。(している・どちらかといえばしているの割合)

今年度の結果



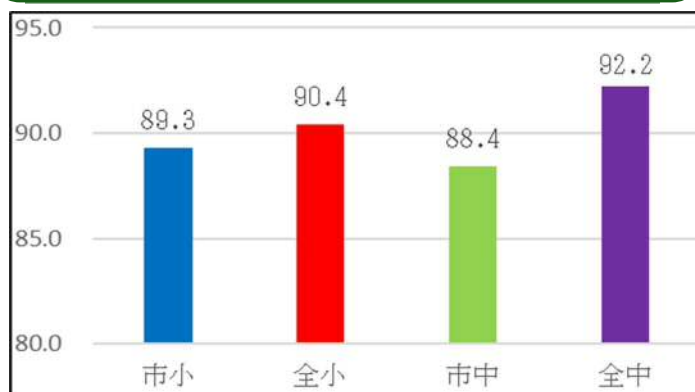
5年間の比較



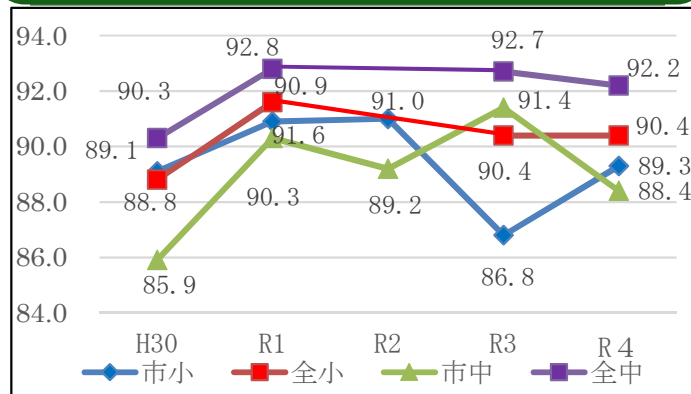
質問

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。(している・どちらかといえばしているの割合)

今年度の結果



5年間の比較



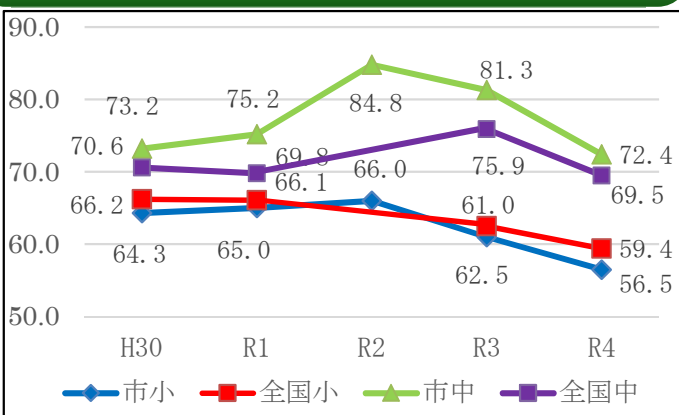
「学習習慣」について

学校の授業時間以外の学習や読書の様子等から、学習習慣について考える。

質問

家での学習時間(塾・インターネット含む、一日当たり1時間以上学習しているの割合)

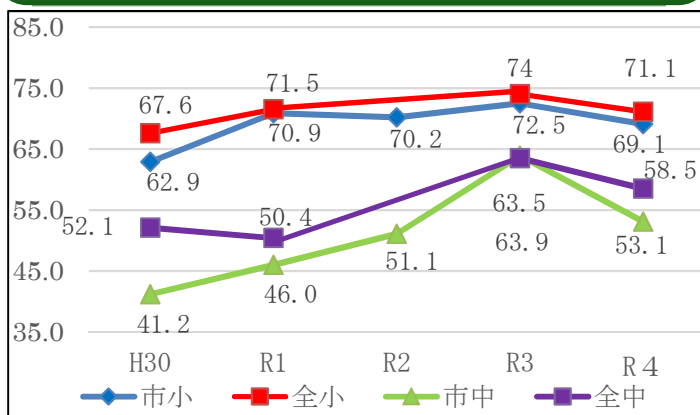
5年間の比較



質問

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(している・どちらかといえばしているの割合)

5年間の比較



児童生徒質問紙の結果から

主な結果と経年変化

令和4年度
全国学力・学習状況調査 単位%

「学習習慣」について

学校の授業時間以外の学習や読書の様子等から、学習習慣について考える。

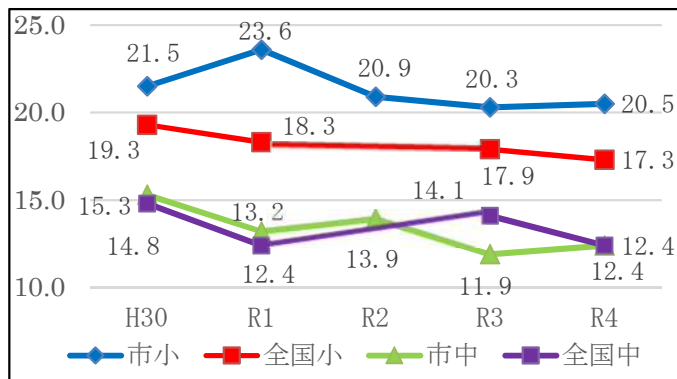
質問

学校の授業時間以外に普段1日当たりどれくらいの時間読書しますか。(1時間以上の割合)

今年度の結果



5年間の比較



「規範意識・自己有用感」について

自分の良さやいじめに対する考え方等から、規範意識・自己有用感について考える。

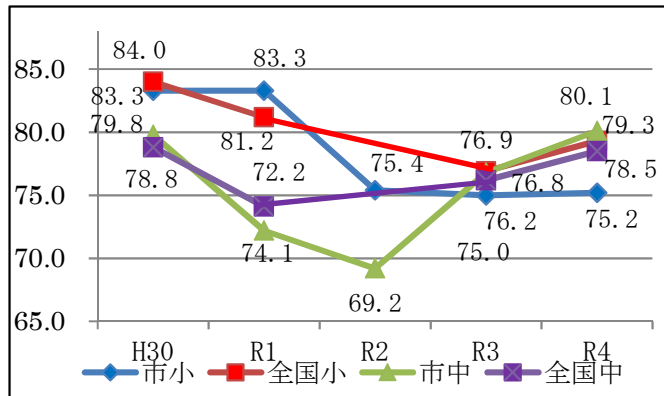
質問

自分には、よいところがあると思いますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



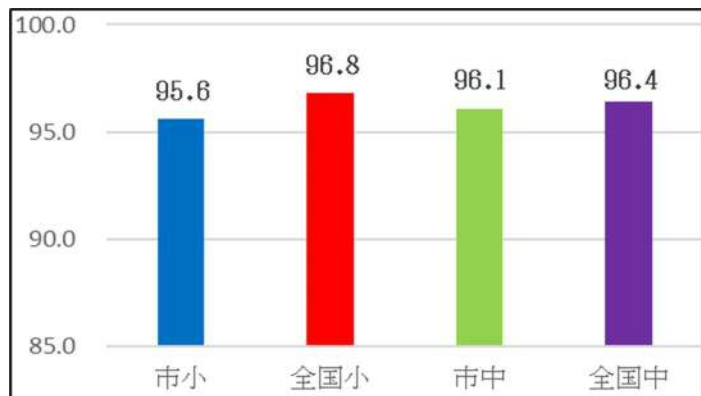
5年間の比較



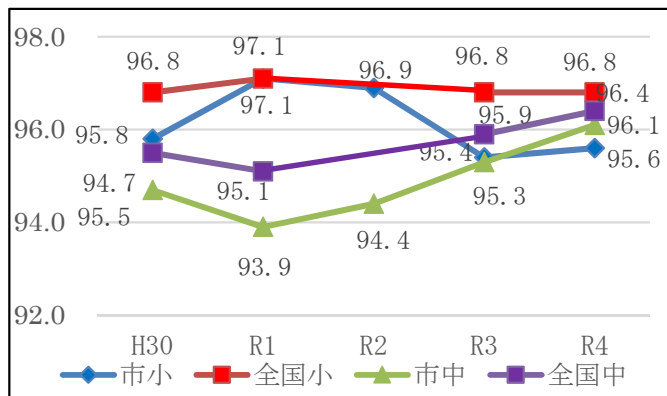
質問

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(当てはまるの割合)

今年度の結果



5年間の比較



児童生徒質問紙の結果から

主な結果と経年変化

令和4年度
全国学力・学習状況調査 単位%

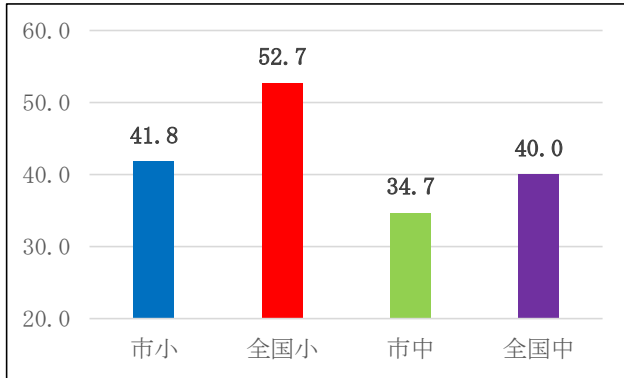
「地域とのつながり」について

毎日の朝食や、起床時刻、就寝時刻から生活習慣について考える。

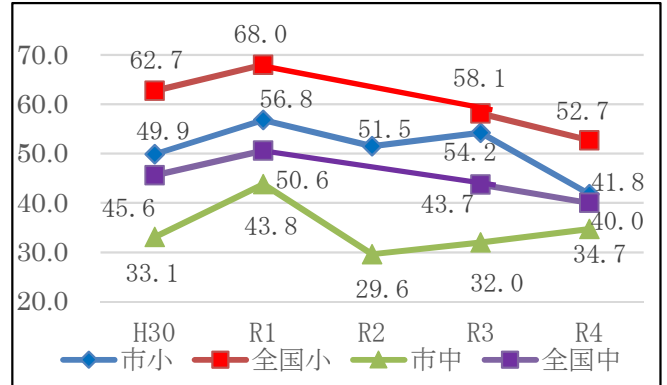
質問

今住んでいる地域の行事に参加していますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



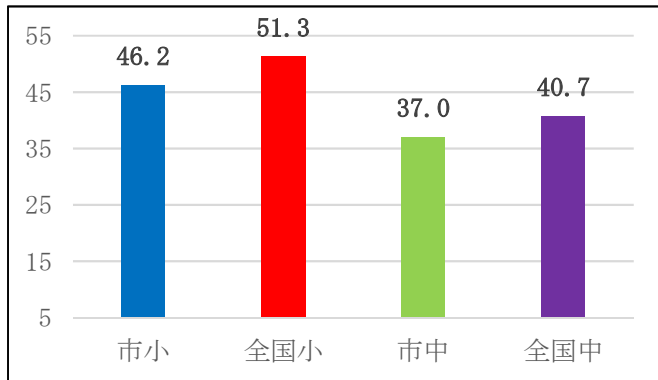
5年間の比較



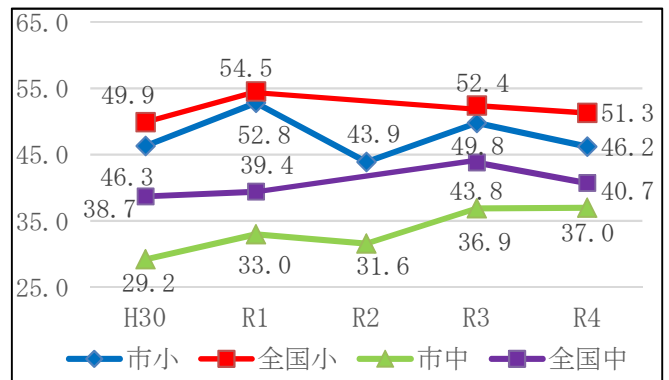
質問

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



5年間の比較



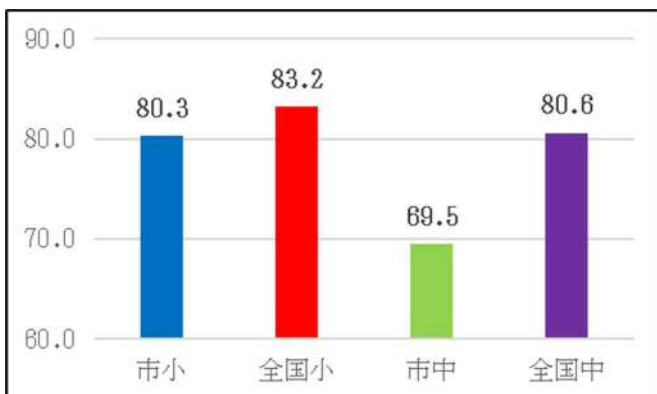
「ICT 機器の活用」について

PC やタブレットなどの ICT 機器を活用した学習について考える。

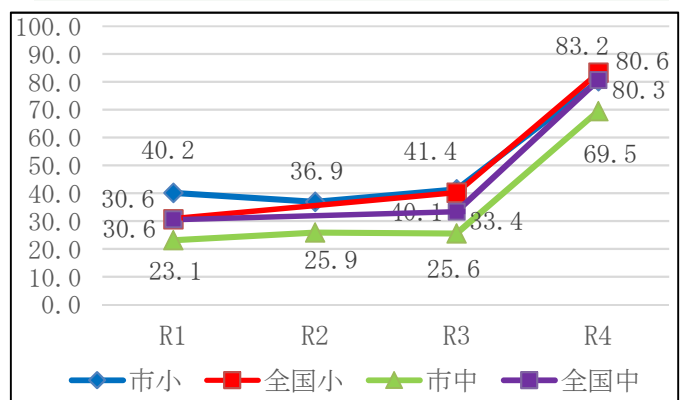
質問

授業で PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。(週1回以上と答えた割合)

今年度の結果



4年間の比較 (R1年度からの質問項目)



児童生徒質問紙の結果から

主な結果と経年変化

令和4年度
全国学力・学習状況調査 単位%

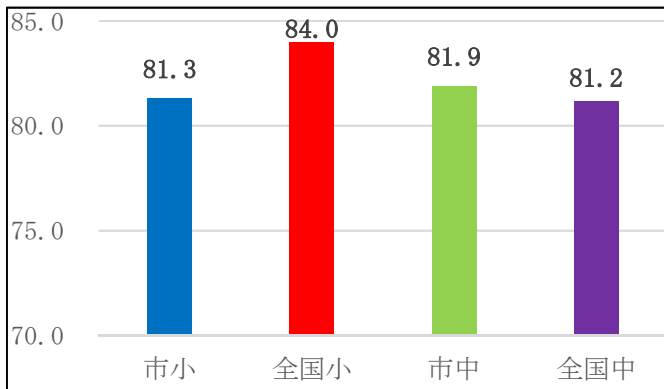
「教科学習」について

各教科の授業について学習の理解について考える。

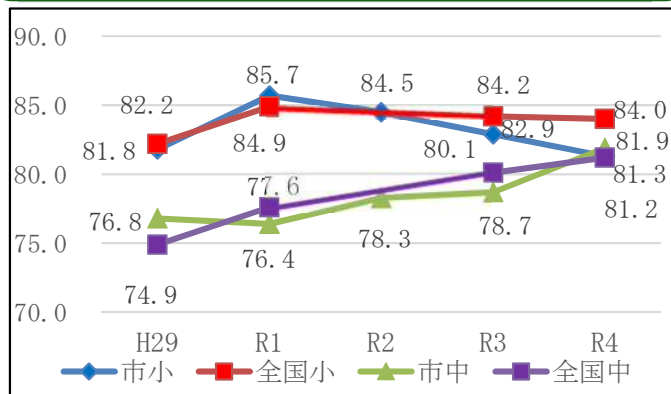
質問

国語の授業の内容はよくわかりますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



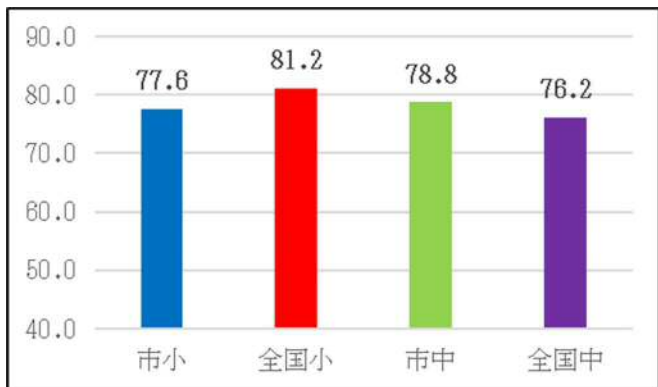
5年間の比較 (H30のみ該当質問なし)



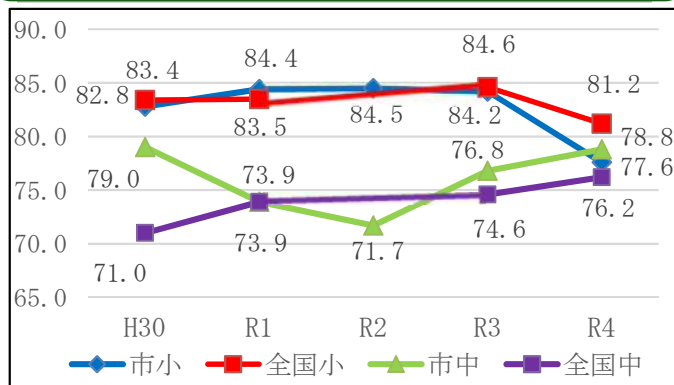
質問

算数・数学の授業の内容はよくわかりますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



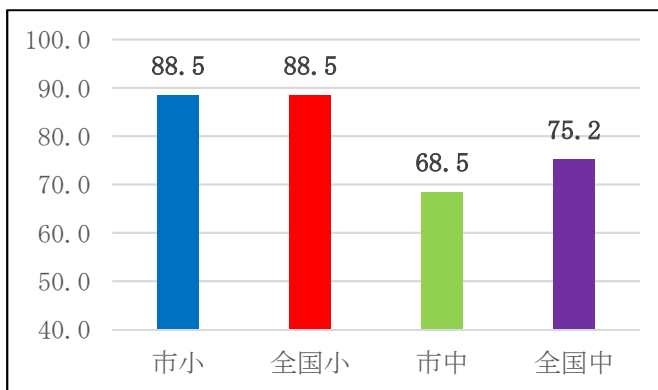
5年間の比較



質問

理科の授業の内容はよくわかりますか。
(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

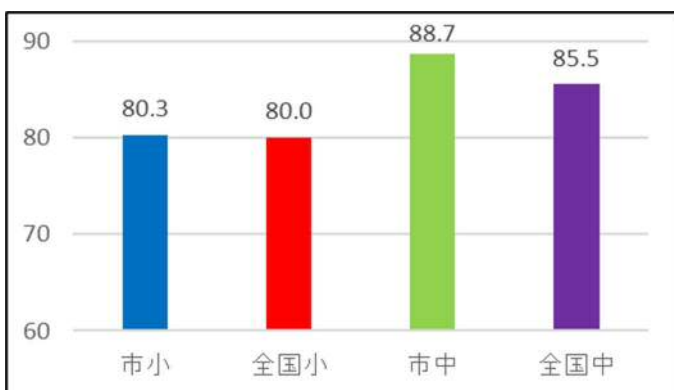
今年度の結果



質問

道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



規則正しい生活習慣を身につけましょう

生活習慣の基本となる「早寝・早起き・朝ごはん」「スマホやゲームの時間」のルール。

家庭学習に毎日計画的に取り組みましょう

毎日計画して継続的に家庭学習に取り組む習慣を身につけましょう。

授業参観や学校の行事に参加しましょう

子どもたちが1人1台端末やICT機器等を活用し、主体的・対話的に学ぶ姿をご覧ください。

地域の方々と顔が見える「つながい」をつかっていきましょう

海老名市ではコミュニティ・スクールを導入し、「地域で育てる子どもたち」を目指しています。地域に関心を持ち、地域の行事等に家族で参加しましょう。

ご協力をお願いします！

